

彩の国資源循環工場サーマルリサイクル施設更新工事

環境影響評価書

令和5年1月

オリックス資源循環株式会社

目 次

序 章 環境影響評価書作成までの経緯	序-1
第 1 章 事業者の名称及び住所	1-1
第 2 章 対象事業の目的及び概要	2-1
2.1 対象事業の名称	2-1
2.2 対象事業の目的	2-1
2.3 対象事業の実施区域	2-1
2.4 対象事業の規模	2-4
2.5 対象事業の実施期間	2-4
2.6 対象事業の実施方法	2-5
第 3 章 地域の概況	3-1
3.1 社会的状況	3-1
（1）人口及び産業の状況	3-1
（2）土地利用の状況	3-3
（3）河川及び湖沼の利用並びに地下水の利用状況	3-6
（4）交通の状況	3-10
（5）学校、病院、その他の環境保全についての配慮が特に必要な施設及び住宅の分布状況	3-13
（6）下水道、し尿処理施設及びごみ処理施設の整備の状況	3-19
（7）法令等による指定及び規制等の状況	3-21
3.2 自然的状況	3-56
（1）大気質、騒音、振動、悪臭、気象その他の大気に係る環境の状況	3-56
（2）水質、底質、水象その他の水に係る環境の状況	3-96
（3）土壌及び地盤の状況	3-113
（4）地形及び地質の状況	3-118
（5）動物の生息、植物の生育、植生、緑の量及び生態系の状況	3-121
（6）景観、自然とのふれあいの場の状況	3-122
（7）文化財その他の生活環境の状況	3-129
（8）一般環境中の放射性物質に係る環境の状況	3-131
（9）その他の事項	3-138

第4章 関係地域	4-1
4.1 環境に影響を及ぼす地域の基準	4-1
4.2 環境に影響を及ぼす地域	4-1
第5章 調査計画書についての環境の保全の見地からの意見の概要	5-1
第6章 調査計画書についての知事の意見	6-1
第7章 第5章及び第6章の意見についての事業者の見解	7-1
7.1 環境の保全の見地からの意見についての事業者の見解	7-1
7.2 知事の意見についての事業者の見解	7-2
第8章 環境影響評価の調査項目及び調査方法	8-1
8.1 調査項目	8-1
(1) 環境影響要因の把握	8-1
(2) 環境影響評価項目	8-1
8.2 調査方法	8-6
第9章 調査の結果の概要並びに予測及び評価の結果	9. 1-1
9.1 大気質	9. 1-1
9.2 騒音・低周波音	9. 2-1
9.3 振 動	9. 3-1
9.4 悪 臭	9. 4-1
9.5 水 質	9. 5-1
9.6 土 壌	9. 6-1
9.7 動 物	9. 7-1
9.8 植 物	9. 8-1
9.9 生態系	9. 9-1
9.10 景 観	9. 10-1
9.11 自然とのふれあいの場	9. 11-1
9.12 電波障害	9. 12-1
9.13 廃棄物等	9. 13-1
9.14 温室効果ガス等	9. 14-1
第10章 環境の保全のための措置	10-1
第11章 対象事業の実施による影響の総合的な評価	11-1

第 1 2 章 事後調査の計画	12-1
12.1 事後調査項目並びに選定項目のうち事後調査項目から除外する項目及びその理由	12-1
12.2 事後調査の方法等	12-7
12.3 事後調査の結果により環境影響の程度が著しいことが明らかになった場合 の対応方針	12-22
12.4 事後調査の実施体制	12-22
第 1 3 章 環境影響評価の受託者の名称及び所在地	13-1
第 1 4 章 準備書についての環境の保全の見地からの意見の概要	14-1
第 1 5 章 準備書についての知事の意見	15-1
第 1 6 章 第 1 4 章及び第 1 5 章の意見についての事業者の見解	16-1